

境・日野川処理区 大規模雨水処理施設整備事業計画（福井市）

（様式1）

項目	内容・施策等
選定理由	<p>境・日野川処理区に位置する本市の中心市街地及びその周辺では、昭和23年から下水道事業に着手しており、昭和48年に供用を開始した出作ポンプ場などの雨水処理施設の老朽化が進行している。これらの施設は、適切な雨水排水機能を確保し、浸水被害を防止するため、集中的な改築を実施する必要がある。</p> <p>さらに、地震発生時にも適切な雨水排水機能を確保するため、雨水処理を担う管路施設の改築を実施する必要がある。</p>
整備目標	<p>本計画における対象降雨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本計画における対象降雨：43.1mm/hr ・目標とする理由：公共下水道事業計画における計画降雨 ・ハード整備による整備水準の目標：43.1mm/hr（5年確率降雨） <p>目標設定</p> <p>老朽化したポンプ場等の雨水処理施設および雨水処理を担う管路施設の改築を行うことにより、施設の機能停止や流下機能の低下による浸水リスクを解消し、家屋の床上浸水を防止する。</p> <ul style="list-style-type: none">)生命の保護の観点：当該排水区の浸水被害を防止する。)都市機能の確保の観点：乗物の移動限界水深である 20cm 程度を目安とする。)個人財産の保護の観点：床上浸水を防止するため 45cm 程度以下を目安とする。 <p>ハード対策、ソフト対策及び自助の役割分担について</p> <ul style="list-style-type: none">)ハード対策 <ul style="list-style-type: none"> 老朽化したポンプ場等の雨水処理施設および雨水処理を担う管路施設の改築を実施。)ソフト対策及び自助 <ul style="list-style-type: none"> 住民の自助・共助の防災意識向上を図るための啓発活動や説明会を行うとともに、補助制度等（雨水貯留タンクや止水板の設置）の整備、土のう配布、情報の提供・共有の強化及び活用などを行い、対象降雨を超える降雨が生じた際、浸水被害の最小化を図る。

項 目	内 容 ・ 施 策 等		
内水ハザードマップ策定状況	<p>・ 有 (平成19年6月策定済み) (令和4年3月改訂)</p>		
主な事業内容	公助	ハード対策	<p>下水道管理者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 雨水ポンプ設備改築 <ul style="list-style-type: none"> 出作ポンプ場 排水能力 286m³/min 米松ポンプ場 排水能力 311m³/min 舞屋雨水ポンプ場 排水能力 143m³/min ・ 雨水ポンプ施設に関する設備改築 ・ 雨水処理を担う管路施設の改築
			<p>下水道管理者以外</p>
		ソフト対策	<p>下水道管理者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 内水ハザードマップの作成・公表 ・ 降雨情報の収集と提供 ・ 水防体制 ・ 出前講座等 ・ 土のうの配布 ・ 雨水貯留タンク、止水板の設置支援
			<p>下水道管理者以外</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 福井減災プロジェクト
	自助	ハード対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 土のう設置 ・ 雨水貯留タンクの設置 ・ 止水板の設置
		ソフト対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 避難訓練 (福井市上下水道局)

名称	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	計
出作ポンプ場		407	546	134			1,087
米松ポンプ場		542		377			919
舞屋雨水ポンプ場		99					99
南四ツ井雨水ポンプ場		32	179	95	174		480
底喰雨水ポンプ場				397			397
境浄化センター		20					20
管路施設の改築	635	1,929	1,350	1,350	1,350	1,350	7,964
計	635	3,029	2,075	2,353	1,524	1,350	10,966

年度計画（百万円）

項目	内容・施策等
整備効果	<p>・ 中心市街地及びその周辺のポンプ場等に設置された雨水処理に係るポンプ設備及び施設機能に関わる設備について、適切な雨水排水機能を確保する（経過年数は令和5年度末現在）。</p> <p>出作ポンプ場 雨水ポンプ設備 45～52年経過 286m³/min 米松ポンプ場 雨水ポンプ設備 46～51年経過 311m³/min 舞屋雨水ポンプ場 雨水ポンプ設備 25年経過 143m³/min 南四ツ井雨水ポンプ場 施設機能に関わる施設 46年経過 底喰雨水ポンプ場 施設機能に関わる施設 37年経過 境浄化センター 施設機能に関わる施設 40年経過</p> <p>・ 雨水処理を担う管路施設の改築を行い、排水機能を適切に確保する。（43.1mm/hr：5年確率降雨）</p> <p>ソフト対策、自助の整備効果等： 住民の自助・共助の防災意識向上を図るための啓発活動や説明会を行うとともに、補助制度等（雨水貯留タンクや止水板の設置）の整備、土のう配布、情報の提供・共有の強化及び活用などを行い、対象降雨を超える降雨が生じた際、浸水被害の最小化を図る。</p>

放流先河川との調整状況	河川管理者との協議により、ポンプ場からの放流については同意を得られている。
その他	平成 27 年に「福井市下水道雨水対策基本計画」を策定し、令和 4 年に改定した。

